

2026/8/22 土

15:00開演 [14:30開場]

※ ぶさかも文化ホール

ウッドワンさくらびあ 小ホール

SAT. 22ND AUG. 2026 15:00

HATSUKAICHI CITY CULTURAL HALL "WOODONE SAKURAPIA"
SMALL HALL

NISSAY

折りに包まれる八月。
リリコレツシエーロ・ソプラノがつむぐ
平和への道。

種谷典子 ソプラノ

Noriko Tanetani, Soprano

齋藤亜都沙 | ピアノ*

Azusa Saito, Piano

カーゲル M. Kagel	《バベルの塔》(2002)から「ドイツ語」 "Deutsch", from <i>Der Turm zu Babel</i> (2002)
J. S. バッハ J. S. Bach	カンタータ第199番《私の心は血の海を漂う》BWV199から「私の心は血の海を漂う」「沈黙のため息、静かな嘆きよ」* "Mein Herze schwimmt im Blut" and "Stumme Seufzer, stille Klagen", from <i>Mein Herze schwimmt im Blut</i> , BWV199
プーランク F. Poulenc	平和のために祈りたまえ* Priez pour paix
デュバルク H. Duparc	戦争の起こっている国へ* Au pays où se fait la guerre
アイスラー H. Eisler	《6つのヘルダーリン断章》から「悲歌 1943」* "Elegie 1943", from <i>6 Hölderlin-Fragmente</i>
山田耕伴 K. Yamada	南天の花 (1949) * Nanten no Hana (1949)
リゲティ G. Ligeti	夏 (1989) * Der Sommer (1989)
リーム W. Rihm	《3つのヘルダーリンの詩》(2004)から「人生の半ば」* "Halbte des Lebens", from <i>3 Hölderlin-Gedichte</i> (2004)
J. S. バッハ J. S. Bach	《マタイ受難曲》BWV244から「愛ゆえにわが救い主は死のうとされた」* "Aus Liebe will mein Heiland sterben", from <i>Matthäus-Passion</i> , BWV244
J. S. バッハ J. S. Bach	カンタータ第64番《見よ、父なる神の大いなる愛を》BWV64 から「この世にあるものは」* "Was die Welt in sich hält", from <i>Sehet, welch eine Liebe hat uns der Vater erzeiget</i> , BWV64
アイネム G. v. Einem	《薔薇の影》op. 95 (1991)から「父と母」* "Vater und Mutter", from <i>Schatten der Rose</i> (1991), op. 95
ウルマン V. Ullmann	夕べの幻想* Abendphantasie
ヘギー J. Heggie	アナザー・サンライズ (2012) * Another Sunrise (2012)

チケット料金：一般3000円(全席指定・税込)

5月16日 [土] さくらびあ友の会会員 会員割引300円 (2枚まで)

5月23日 [土] 一般発売

●ウッドワンさくらびあ: 0829-20-0111

●チケットぴあ: <https://t.pia.jp> (Pコード: 321-391)

●ローソンチケット: <https://l-tike.com> (Lコード: 63511)

[演奏会についてのお問い合わせ先]

ウッドワンさくらびあ: 0829-20-0111

(公財)東京オペラシティ文化財団: <https://www.operacity.jp>

- 曲目、出演者等は、変更になる場合がございますのでご了承ください。
- 就学前のお子様の同伴・ご入場はご遠慮ください。
- ネットオークション等での営利目的の転売はお断りします。

NISSAY MUSIC GALLERY
東京オペラシティ リサイタル シリーズ
TOKYO OPERA CITY RECITAL SERIES

B → C
ベートーヴェン

バッハから
コンテンポラリーへ

Noriko Tanetani Soprano

"B to C" - from Bach to Contemporary music - is the monthly recital series presented by Tokyo Opera City Cultural Foundation. 10 musical instruments should be picked up in a year, except July and August, and a unique or unusual instrument can be included. One piece of Bach and one piece of contemporary composer should be included in the programme, and other pieces are left to each player's choice.

「B → C (ベートーヴェン | バッハからコンテンポラリーへ)」とは、実力ある若手日本人演奏家が、「B」=バッハ作品と「C」=現代曲を軸に、独自のプログラムを組みリサイタル・シリーズ。

1998年のスタートから既に280回を超え、東京オペラシティの名物企画として、常に音楽ファンの注目を集めています。若きアーティスト達の才気溢れる個性と音楽性を大胆に浮き彫りにする人気シリーズを廿日市で初開催。更なる出会いの場を広げています。

幼い頃から歌に親しんできた種谷典子は、輝かしい響きと繊細な表現力を併せ持つリコレクティヴ・ソプラノ。昨年11月の読響公演『夕鶴』つう役も称賛を集め、さらに2027年の新国立劇場『ばらの騎士』ゾフィー役も発表されるなど、ますます存在感を高めている注目の逸材です。

今回のリサイタルのテーマは「抗えぬ苦悩、犠牲と後悔と」。戦争、迫害、繰り返される人間の愚かな所業。そして今なお続く苦しみ。命の叫びともいえる楽曲が並びつつも、ときに優しい祈りを捧げるように、音楽のなかで平和への思いを届けたい…。広島で生まれ育った彼女が抱いてきた大切なテーマをもとに曲を結び、一つのストーリーのように仕立てました。

戦争への強い批判が印象的なプーランクの歌曲。戦地へ旅立った愛する人の帰りを待つ悲痛な心情がうたわれるデュバルク作品。そして長崎の原爆投下で犠牲となった妻を南天の花に見立てた、医師・永井隆の詩につけられた美しいメロディ。これらを軸にドイツ歌曲などが加わります。最愛の人を失った詩人の孤独が浮かび上がる『人生の半ば』。夕暮れ時に寄せる人の営みが紡がれる歌曲を書いたウルマンはアウシュヴィッツで生涯を閉じました。バッハ作品で歌われるのは人間の後悔や神への嘆願、犠牲となったキリストとその永遠の愛。後半はアメリカの作曲家ジェイク・ヘギーがホロコースト迫害をテーマに書いた約30分のモノオペラを。ポーランド女性クリスティーナ・ジヴルスカの自伝的回想録を元に構成されています。

祈りに包まれる8月、苦悩の先にある新たな夜明けを歌声で願う、渾身のプログラム。ぜひお聴きください。

PROFILE

種谷典子

ソプラノ

Noriko Tanetani, Soprano



広島県出身。安田女子中学・高等学校卒業。国立音楽大学声楽専修及び同大学院修士課程声楽専攻首席修了。宮内庁主催桃華楽堂新人演奏会にて御前演奏を行う。新国立劇場オペラ研修所修了。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員(ミラノ、ルガーノ)。第24回ザンダナイ国際コンクール(イタリア)特別賞。第91回日本音楽コンクール(歌曲)第2位。第16回東京音楽コンクール第2位。宮本亞門演出『魔笛』ハバゲーナ役で二期会デビューの後、東京二期会『フィガロの結婚』にスザンナ役で出演。2023年東京二期会『椿姫』に表題役で出演し、隅々までコントロールされた美声と高い感受性に裏打ちされた演技力で絶賛された。2024年NHK-FM『リサイタル・パッシオ』、東京二期会『ゴジ・ファン・トゥッテ』にフィオルディリジ役で出演。また同年、新国立劇場『魔笛』ハバゲーナ役で同劇場デビュー。コンサートでは、準・メルクル指揮台湾フィルハーモニック《合唱幻想曲》、マカオ国際音楽祭(第九)のほかフォーレ《レクイエム》などに出演し、ソリストとしても高い評価を得ている。2025年11月には、読売日本交響楽団『夕鶴』(演奏会形式)につう役で出演した。今後は、2026年新国立劇場高校生のための鑑賞教室『愛の妙薬』アディーナ役、2027年新国立劇場『ばらの騎士』ゾフィー役で出演が予定されている。二期会会員



広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩約7分
JR山陽本線「宮内車庫」駅から徒歩約15分
広電バス「廿日市市役所」バス停徒歩 1分

はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11-1

TEL:0829-20-0111

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日)

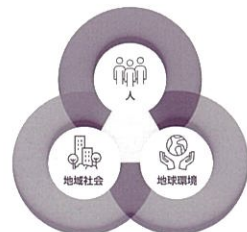
<https://www.hatsukaichi-csa.net/sakurapia/>

人生100年時代。

日本生命グループは、一人ひとりの夢や希望、不安に向き合い、
人・地域社会・地球環境のサステナビリティ向上に取り組み、
「誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会」を目指します。

今日と未来を、つなぐ。

～誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会を目指して～



日本生命
NISSAY